

NGUDDO

NGU Alumni Association

com

第 19 号
2007.10



ついに開設！ 名古屋キャンパス



座談会

生まれ変わった名古屋学院大学

伊藤理事長

小嶋学長

占部同窓会会長

OB'S NOW

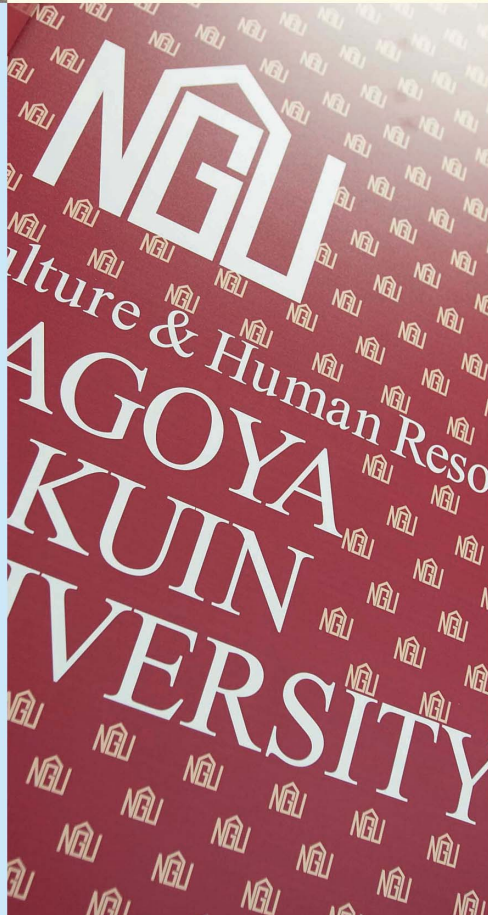
活躍する同窓生

三菱重工業株式会社

名古屋誘導推進システム製作所

顧問 柴田哲治 氏

クラブ&サークル、ゼミナール短信



HOMECOMING DAY

11月4日(日)
第16回
ホームカミングデーの
ご案内

名古屋キャンパスで初開催!!

この4月待望の名古屋キャンパス(白鳥学舎・日比野学舎)が開設しました。これまで40年間、約35,000人の卒業生を送り出した名古屋学院大学は名古屋と瀬戸にキャンパスを持つ大学へと飛躍し、大学本部は名古屋に移転しました。

名古屋キャンパス開設の背景として、時代の変化があります。瀬戸キャンパスができた40年前は、大学が郊外へ出て行く時代だったと言えます。ところが、近年は「個性を生かした大学づくり」ということがうたわれるようになり、教育をどう進めるかは大学に「任せられるようになりました。つまり、本当の教育が問われる時代になったのだと私たちは認識しています。大学といえども知識を教えていけば良いだけの時代は終わり、いかに学生たちにとって質の良い、



名古屋キャンパス<白鳥学舎>

名古屋キャンパス 開設にあたって



名古屋学院大学
学長 小嶋 博

GREETING



名古屋キャンパス<日比野学舎>

満足度の高い教育サービスを提供できるかが大切になったということです。

そのハード面での大きな柱として取り組んできたのが、名古屋キャンパスの開設です。白鳥学舎、日比野学舎のある名古屋市熱田区は、都市にあつて熱田神宮や白鳥古墳などの歴史的文化遺産が数多く存在し、また国際交流の場でもある名古屋国際会議場がある地域です。交通の便も良く、勉学の場としても申し分ないところです。

瀬戸キャンパスは丘陵地帯にあり、鳥がさえずり、素晴らしい自然環境がありますが、しかしながら経済や商業を学ぶ環境としてはどうでしょう。企業のマーケティングや商品の流通について学んでも、それを肌で感じることもできる環境がなければ、机上の学問で終わってしまいます。ですから、経済学や商学を学ぶなら都市型の環境の方が良いと私たちは考えました。

一方、人間健康学部が都市部のキャンパスに

あつたらどうでしょう。もしかすると、人間の健康をどうビジネスに結び付けるか、そんなことばかり考えるようになるかもしれません。つまり教育方針に則したキャンパスをつくっていくことが、本学の目指す方向です。

2007年度はキャンパスが名古屋と瀬戸の2つに分かれ、本学は大きな転換期を迎えました。そうした中で、コミュニケーションと教育サービスの質をどれだけ高めたいけるか。それが今後の課題になっていくこととなります。これからも本学の教育に対し、同窓生の皆様の深いご理解をいただきますよう、お願い申し上げます。



瀬戸キャンパス

母校の現況



同窓生の皆さん、大学が大きな一歩を踏み出したことをお知らせいたします。

昨年瀬戸キャンパスに人間健康学部が開設され4学部体制となり、本年は名古屋キャンパスに3学部が移転しました。来年は通信制大学院の英語学専攻に日本で初めての博士課程設置と、英米語学科の入学定員を15名増して140名とする定員増を行います。

名古屋キャンパスでは4月から約4千人が集い、学生・教職員が気分一新して、学習・教育・研究活動に専念しております。白鳥学舎1階ロビーでは、学生によるピアノコンサートが定期的に開かれ、心和むひと時が演出されています。クラブ施設は体育館を中心に、クラブハウス、テニスコート、フットサルコートなどがあり、日々学生が汗を流しています。

名古屋キャンパスはできたてホヤホヤの美しいキャンパスです。同窓生の皆さんが気軽に立ち寄れるように、母校が大学をとりまく方々との交流の場となりますようお願いしております。

名古屋学院大学 理事長 伊藤信義

ご挨拶



爽やかな秋の季節となり、同窓生の皆様におかれましては、益々お元気で活躍のことごとく拝察いたします。

名古屋学院大学は、今年4月から経済学部・商学部・外国語学部の3学部が白鳥に建設された名古屋キャンパスに移り、新しい環境の下で授業が行われています。また、人間健康学部と一部のスポーツクラブの学生

は、瀬戸キャンパスに残り授業を受けております。

同窓会は本年、大学祭が開催される11月4日(日)に名古屋キャンパスにおいて、同窓生の集い「ホームカミングデー」を開催いたします。名古屋キャンパスの見学会も予定しておりますので、是非ご参加いただきたいと思っております。また、本年度は、同窓会ホームページをリニューアルいたしましたので、一度ご覧いただきたいと思っております。

本年度も同窓会の活動にご理解、ご協力を賜りますようお願いいたします。

名古屋学院大学同窓会会長 占部憲一

名古屋学院大学同窓会

第16回ホームカミングデーのご案内

■日時
11月4日(日)

午前11時より午後2時まで

※お好きな時間にお越しください。

入場無料

■場所

名古屋学院大学白鳥学舎 1階レストラン

今年も名古屋キャンパスで初開催

ホームカミングデーを今年も11月4日(日)に名古屋キャンパスの白鳥学舎にて開催します。

同窓生が年一回、一堂に集うこの日を心待ちにされている方もたくさんいらっしゃると思います。母校が名古屋に帰ってきた最初のホームカミングデー。真新しいキャンパスで、親子仲間と語りう楽しいひとときを一緒にしませんか。立食パーティー形式です。気兼ねなく楽しい1日を過ごしていただけることをお約束します。

当日は楽しいイベントも盛り沢山です。是非とも多くの同窓生の方々にご参加いただきたく、ご案内申し上げます。

第43回名学大祭「絆〜Everlasting〜」のご案内

■期間 11月3日(祝)・11月4日(日)

名古屋学院大学同窓生の皆様、今年も名学大祭の季節が近づいてきました。

今回は、全国初となる「ゴミ箱のない大学祭」の実施を計画しております。これはゼロ・エミッションをテーマにした本格的な環境啓発活動の一環として、「名古屋学院大学モデル」を構築し、全国に発信することで、大学祭の社会的な意義を高めることを目的とします。

駐車場がありませんので、公共交通機関でお越しください。



ホームカミングデー 主な行事(予定)

- 11:40 KE:KOコンサート 木下ゆーき(大道芸)
- 12:50 黒木美亜コンサート
- 13:40 木下ゆーき(大道芸)

昨年以上の盛り上がり方を…との思いで、各々のイベントを企画しました。

「ホームカミングデー」の前後を利用して、同窓生の皆様には是非とも参加いただきたくご案内申し上げます。

名古屋学院大学 大学祭実行委員会

座談会 生まれ変わった 名古屋学院大学

2007年4月、名古屋キャンパスが開設されて半年を経過しました。名古屋学院大学の43年振りの里帰りにより、今後は大きな変革期を迎えます。伊藤理事長と小嶋学長、占部同窓会会長が出席し、母校の将来への方向性について座談会を行いました。



伊藤信義

名古屋学院大学 理事長

小嶋博

名古屋学院大学 学長

占部憲一

同窓会 会長

出席者



21世紀の

「都市型大学」ブランドを 目指す

占部会長(以下占部に略) 4月に名古屋キャンパスが開設されて半年が過ぎました。瀬戸から名古屋へと、大学を取り巻く状況がかなり変化されたと思います。これからの名古屋学院大学の方向性、名古屋キャンパスの良い点、移転して良かった点などをお聞かせください。



伊藤理事長(以下理事長に略) 良いところはたくさんあります。授業の出席率が上がっていると

いうデータが出ています。瀬戸キャンパスの頃は、電車やスクールバスに乗り遅れたりすると、欠席になってしまう学生がいたと聞いています。名古屋キャンパスに移ってからはそういうことが少なくなってきたようです。学生にとって、交通の便が良くなったことがいい効果を出しています。

瀬戸キャンパスに比べて、まとまりの良いキャンパスですので、今までよりは学生の交流ができるようになってきているという気がします。あまり良くない点は、今約3,800人程いる学生が昼休み等になると二気に講義室から出てきて食堂が大変混雑すること。また、特に雨天の日は学生の行き場がなくなることでしょうか。学生が過ごしやすい環境を整備する上で、2年以内

に方向付けをして、新たな施設を作らないといけないと考えています。

また、広大な瀬戸キャンパスと異なり、学生との距離感がなくなってきたように思います。身近で学生の様子がわかるということは、教育上も大学運営上も良い点ですね。

占部 都会に戻って来たことが、かなり良い流れになっているようですね。確かに名古屋キャンパスは交通の便も含めて非常に素晴らしい環境にあると思います。アメリカのアイビーリーグのような、スタイリッシュな感じを受けました。

小嶋学長(以下学長に略) 一実感するのが、大学名にふさわしいキャンパス環境になったとい



うところですか。地下鉄で通学できる。2年生以上の学生は瀬戸と名古屋で学生生活を送ることができ、2つのキャンパスで過

せる喜びを感じてもらっていると思います。名古屋キャンパスは近くに公園や川があり、立地が素晴らしいですね。学生たちには建物の屋上から一度周りを見渡してもらいたいと日々考えています。先日、オープンキャンパスに来た高校生とご父母が、屋上からの景色を見て「きれいだな」と感想をもらっていたことが印象的でした。

話題を名古屋学院大学の方向性に変えて申し上げると、地域と大学との結び付きを強化

しながら教育に活かしていこうと考えております。平成19年度文部科学省「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」(現代GP)にも選定された、本学経済学部「地域創成プログラム」を通して、地域(名古屋市中瀬戸市)との交流をより深め、「もの・まちづくり」をテーマに地域間交流を活性化させていきます。学生たちに地域理解、共生の重要性を学んでもらい、そこから創造力を身に付けてもらいたいと考えております。

名古屋キャンパス開設 初年度の効果測定

占部 名古屋キャンパスの認知度は、開設前と今ではどのように変化したと考えられていますか。上手くPR効果が出ていますか。

学長 実は思いのほか受験生が増えませんでした。まだまだ名古屋学院大学が名古屋に戻って来たことの認知が足りないと思います。浸透するまでには2〜3年かかるかもしれません。やはり、いろんなチャネルを通して、さらにPRしていかなくてはいけないでしょうね。同窓会の方々はもちろん、地域に密着しながら、受験生に「こんなに最新の設備を完備したキャンパスで、交通の便も良い」と浸透していくように努めていきたいと思えます。その面では、同窓会のご理解とご協力をぜひともお願いしたいところです。

その為に取り組んでいるのがキャンパスの一般開放です。現在は食堂の開放のみですが、後期からは図書館も利用できるようになりますし、来年度から教室も開放する予定です。特に受験生にはどんどん使ってもらいたいですね。その

過程で名古屋キャンパスの魅力にもふれてもらえると思えます。

占部 図書館の充実が目を見はるものがありますね。パソコン設備も素晴らしいです。私たち同窓生も、名古屋キャンパスのPRをするに当たり、その魅力を知らないでは何も話せませんから。今年のホームカミングデーは名古屋キャンパスで行いますから、同窓生の方々にぜひ見学していただきたいと思えます。



ところで、学生の定着率はどうでしょうか。瀬戸キャンパスの頃は他大学に比べて中途退学者が若干多いと聞き及んでいます。

学長 瀬戸の頃は立地条件の関係もあつたか、他大学の平均よりも2%程高い数字が出ていました。先程、受験生が増えていないと話しましたが、2007年度の入学者は予定人数よりも200名近く増えました。試験会場が名古屋で行ったこともあり、受験生に名古屋キャンパスの魅力を知ってもらえたのではと考えています。もっと受験生が増えるといいのですが、どの大学も受験生は減っており、特に東海地区は厳しい状況です。関東や関西の大学を志望する受験生が増えることも本学への受験生の伸び悩みに関連していますね。いかに外へ出て行こうとする受験生をつなぎ止めるか、真剣に考えないといけません。

理事長 確かに大学を取り巻く状況は著しく変化しています。本学において顕著な変化の例としては、女子学生の比率が年々高まっていることが上げられます。今年のデータでは全体の26%程となっています。おそらく2年以内に

は30%を超えるのではと予測しています。学長の話にもあったように、受験生がほぼ横ばいの中で入学者が予想以上に増えました。この状態をキープして、来年度以降につなげていきたいと思えます。

占部 瀬戸キャンパスの今後についてはどのようなお考えですか。

理事長 設備面で言うと、今年は野球場とラグビー場を人工芝等に整備します。次年度はサッカー場を中心に、老朽化したクラブハウスの

整備も予定しています。また、運動部に所属する学生は瀬戸キャンパスで学んでいますから、その人たちが快適に学べるように施設を新しくしていこうと考えています。

学部学科においては、おそらく2年以内に人間健康学部にて1学科新設できると思えます。こちらも力を込めて推進していくつもりです。

占部 同窓生の方々に、他にも知っていたきたい話題があればお聞かせください。

学長 これはおそらく日本一と言っても良いと思いますが、CCS(キャンパスコミュニケーションシステム)のことを話したいと思います。学生・教員・事務局をネットワーク化し、パソコンや携帯電話を使ってあらゆる情報の受け渡しが可能システムです。大学内のすべての活動がCCSを通じて行えるように構築されています。学生一人一人の学習情報を網羅し、教員が適格なアドバイスをしながら教育支援をしています。また、大学連携システムTIES(タイズ)とも連動し、他大学の講義を視聴することも、本学の講義を全国へ配信することも可能です。関東及び関西にもない特筆すべきシステムであり、教育環境的にはどこの大学と比べても負けないと自負しています。

占部 多彩な話題が出ましたが、名古屋キャンパス開設を契機に名古屋学院大学がさらに発展することを願っております。同窓会としても、どのような支援が具体的にできるかを広く話し合い、大学の社会的認知度が高まるように努めてまいりたいと思えます。

ご多忙の中、多岐に渡りお話しいただきありがとうございました。今後ともよろしくお願いたします。



名古屋キャンパス設備概要

今年4月に開設した名古屋キャンパスの設備をご紹介します。

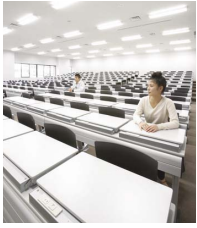
白鳥学舎(曙館・泉館)

周囲には白鳥公園・白鳥庭園・堀川・熱田神宮公園など、豊かな自然環境の中、ガラスとレンガタイルを多用した近代的な建物として、周囲にそびえ建っています。学舎のイメージは「若者が集い、希望輝く学びの舎」。

最先端の教育設備を配置した教室・学術情報センターの他に1,000席を超すレストランなど、教育とキャンパスライフを楽しめる曙館。ガラス壁面が斬新な雰囲気を醸し出す泉館(体育館)、荘厳なチャペル、クラブハウス、テニスコートなど利便性と快適性を兼ね備えた新しい都市型キャンパスです。



ラウンジ



ノートパソコン対応教室



体育館

ガラス面を多く取り、採光性に工夫。1階には小体育館1・2、トレーニングルーム、更衣・シャワー室。2階のメインアリーナでは、バスケットボール(2面)・バレーボール(2面)・バドミントン(8面)ができます。



メインアリーナ

レストラン

1・2階にある学生レストラン。1階はカレーバー・ヌードルバー・ドブプリバーのフロアー(456名収納)、2階はカフェテラス形式のレストラン(410名収納)となっており、内部階段で往来ができます。その他に建物内外に約200席を設け、学生ラウンジを形成しています。



学術情報センター

3・4階に位置し、3階は図書館、4階が情報教育フロアーを設けています。開放感あふれる吹き抜けのガラス窓から陽光が射し込み、周囲の豊かな緑とあいまって、心地よい空間を演出しています。キャンパス広場や白鳥公園を眼下に眺めることができます。



図書館フロアー(3F)

情報教育フロアー(4F)

一般への開放設備も充実

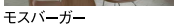
レストランと図書館、丸善売店、モスバーガーショップ、コンビニエンスストア、ATMなどを一般の方々にも開放しています。どなたでも気軽にご利用できます。



丸善売店



コンビニ



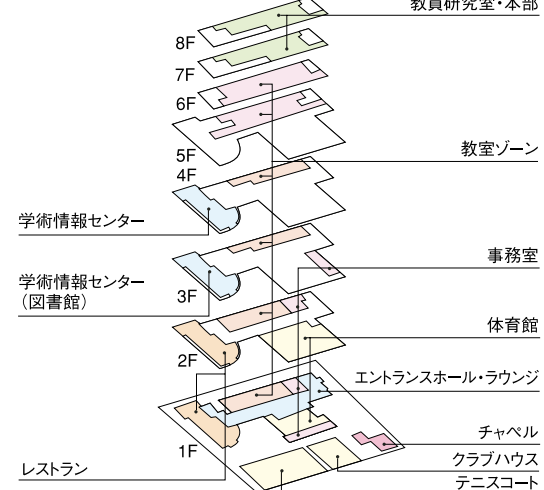
モスバーガー

チャペル

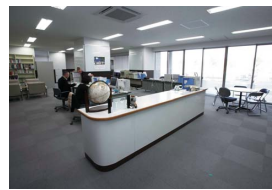
正門北側に位置するチャペルは、名古屋キャンパスのシンボリックな建物です。曙館・泉館とのイメージ統一されたレンガタイルの外観と、空にまっすぐに伸びたカリオン(鐘塔)が周囲に厳かな雰囲気を演出しています。



■白鳥学舎フロアー図



テニスコート



国際交流センター



キャリアセンター

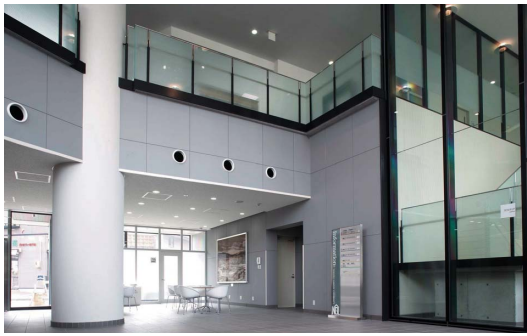


クラブハウス

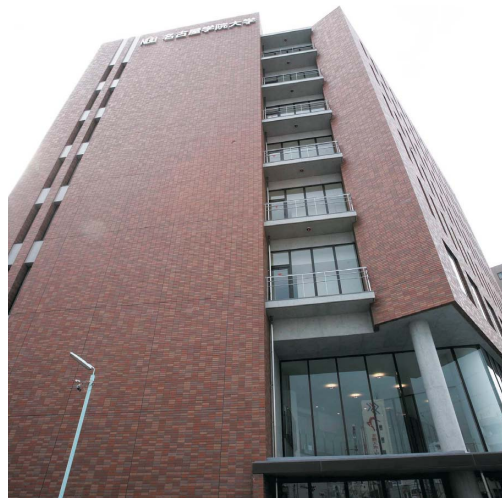


280人教室

HOT NEWS



エントランスホール



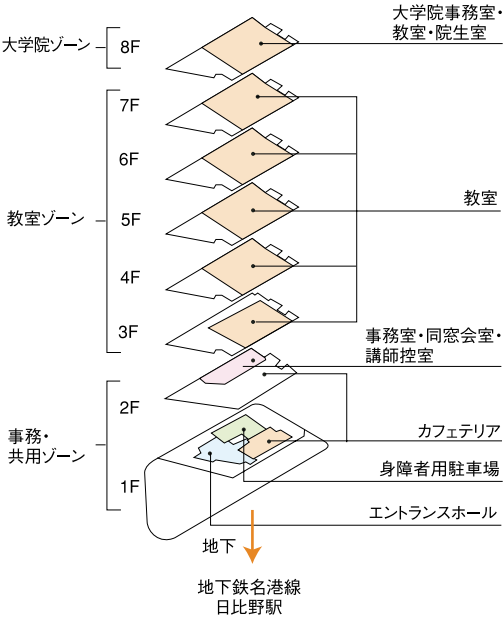
ことばかん
日比野学舎(言館)

白鳥学舎から徒歩5分。名古屋駅から電車で10分、地下鉄名港線「日比野駅」上に建設され、地下鉄通路で校舎に入ることができる絶好の立地環境です。

1階はカフェテリア(2階までのメゾネットタイプ)、2階は事務所とカフェテリア、3~7階は教室(中・小教室=150・60・30人教室、特別教室)エリア。8階は大学院エリアとなっています。

小規模教室を利用して、語学・情報教育などの少人数授業の他、市民講座などのエクステンション活動を展開しています。

■日比野学舎フロアー図



150人教室



パソコン設置教室



カフェテリア



8階ラウンジ

名古屋キャンパス
竣工式のご報告

去る5月19日(土)午前10時30分より、白鳥学舎泉館(体育館)2階において「名古屋キャンパス竣工式」が約400名が出席する中、盛大に挙行されました。

松原武久名古屋市長から祝辞をいただき、名古屋キャンパスへの激励と期待の言葉を頂戴しました。また、午前11時30分からは場所を白鳥学舎曙館1階のフードバーに場所を移し、竣工パーティーを開催。多くの皆様とともに、名古屋キャンパスの船出を祝いました。

大学は重要な資産

竣工式での松原武久名古屋市長のご挨拶より「ようこそ、そしてお帰りなさい」これが今の私の率直な気持ちです。

名古屋学院大学が名古屋から瀬戸に移転して約40年、熱田の地に3学部が戻つてこられました。特にここ白鳥地区は、堀川や白鳥庭園に代表される水と緑あふれる美しい街で、近くには、年20回の国際会議が開かれる国際会議場や、生涯学習センターもあります。国際色豊かであると同時に、地域の人々とのコミュニケーションの場としても重要な場所といえます。

熱田区は高齢化率が高い地域ですが、そこに若い人たちが集まることで街も活性化します。瀬戸で成功したように、熱田でも学生と地域の人たちとの交流が広がることを願っています。

また、当地は国際感覚を磨くうえでも格好の場といえます。2010年には、世界から4,000人が集まるトップクラスの環境国際会議が開かれます。これをぜひ名古屋に招致したいと思っています。そのときには名古屋学院大学のみなさんに格別の協力をさせていただきます。

大学は市にとつての資産です。大学と自治体と地域の協力関係は、これからの都市にはなくてはならないものになるでしょう。

▶白鳥・日比野学舎周辺マップ

名古屋キャンパスの周辺環境には、さまざまな観光名所がいっぱいです。ここでは代表的なスポットを掲載します。同窓生の皆さん、是非一度ぐるりと巡ってみてはいかがでしょうか？





トレーニング室

各種測定道具やトレーニング機が用意されており、体力測定の方法や運動・トレーニング指導の方法を学習します。



日常生活活動実習室

和式の生活や家事動作、入浴動作、トイレ動作など、日常生活に関連した訓練や指導について実習します。



ブレイルーム・観察室

様々な心理学的介入を必要とする児童の行動観察を行い、児童の発達上の問題に対する心理学的援助の実践について学びます。



観察室



ブレイルーム

運動療法学実習室

運動による生体のさまざまな反応や効果を学習し、それらを利用して障害等の予防および治療に用いるための知識や技術の習得を目的としています。



運動学実習室

動作や運動を分析するための三次元動作分析装置、床反力計、重心動揺計、筋力測定器、筋電図、心電計などの機器を配置し、実習を行います。



水治療実習室

滝浴、気泡浴などの水やお湯を利用した治療法（温熱・マッサージ作用、水の浮力や抵抗を利用した水中運動効果など）を実習します。



物理療法学実習室

温熱、寒冷、光線、電気などの物理的的刺激を生体に与えて生理的反応を引き出す治療法を実習します。



その他の設備

社会心理学実験室、知覚・認知実験室、面接室、福祉実習室、義肢装具実習室、基礎医学実験室、解剖学実習室などがあります。

人間健康学部の学生が学ぶ瀬戸キャンパス。「健康な社会」の未来を切り拓くリーダーを育てるべく充実した最先端の実習施設の中から代表的な設備をご紹介します。

ソフトテニスOB会 設立総会の報告

創部45周年を前に念願のOB会設立総会を大学同窓会副会長 安藤之人氏を来賓にお迎えし、昨年10月14日・名古屋駅前キャッスルプラザホテルにおいて、参加者65名にて盛大に開催しました。

また、第二回総会も参加者45名にて今年3月10日・同所において行いました。懐かしい顔やら、初めて会う後輩やら、楽しい時間を過ごすことができ、盛会にて無事に終了いたしました。

会長である高木徳和を中心に、毎年3月第二土曜日に総会を行う予定です。全会員参加を目標にしておりますので、会員の方々には益々のご協力をお願いいたします。

■組織および役員名

会長	68 高木徳和	
副会長	68 稲垣民三	
	69 関戸幸雄	
会計監査	68 豊田幸雄	
	69 米沢実	
会 計	70 古川一巳	
	70 野木森 二	
事務局長	70 箕形光正	
事務局補佐	70 小川國夫	
	71 加藤正雄	
代議員	各学年より1名	39名

事務局／箕形宅(箕形光正)
住 所 名古屋市北区山田4-9-21 407
TEL/FAX 052-913-0006
携帯電話 090-2946-1984



名古屋学院大学ソフトテニス部OB会
事務局長 箕形光正

なお、まだ名簿の整理が完全ではなく、連絡が取れない方がいますので、総会のお知らせが届いていない方はお手数ですが事務局までお知らせください。

ゴルフ部OB会

毎年、品野台カントリークラブにて開催しております名古屋学院大学ゴルフ部OB親睦会も今回で9回目、顧問の亀井教授を囲み、卒業生とあわせて28名の皆様方にご参加いただきました。

体育会ゴルフ部として歩んだ歴史を振り返り、いつもたくさんの思い出話で楽しいひとときを過ごしております。

毎年開催しておりますOB会開催日の連絡につきましては、2ヶ月前にこちらで選任した各学年の代表幹事様へご連絡させていただいております。初

めてOB会の開催を知った方は、同期の方に確認するか品野台カントリークラブの浅見宛てにご連絡ください。

今回は来年夏頃に品野台カントリークラブにて開催いたしますので、ぜひ気軽に参加していただくよう、よろしく願っています。

名古屋学院大学ゴルフ部OB親睦会 事務局

(品野台カントリークラブ内 TEL 0561-410078)

須崎英晴(78E) 浅見宏之(93E)

CLUB & CIRCLE OB&OG, SEMINAR REPORT

クラブ&サークル、ゼミナール短信

硬式野球部OB会

I部昇格を目指して日々練習を怠らない、名古屋学院大学硬式野球部の中田主将に今シーズンの目標についてメッセージを寄せてもらいました。

「我々、名古屋学院大学硬式野球部員一同はI部昇格を目指しチーム一丸となって日々頑張っています。毎日の練習では、学生コーチ、主将、副主将、各学年のリーダーを中心にメニューを決めて行っています。月、火、木、金曜日は講義が終わる次第グラウンドに集まり、19時まで行っています。水、土、日曜日はお昼から全員が集まるので、17時〜18時まで集中して行っています。また、毎日の練習後は個人の能力を補うため、各自自主練習を行っています。」

昨年の春にII部1位という結果で愛知大学とのI部II部入替戦を行いました。2連敗という結果に終わり、悔しい思いをしました。秋ではII部3位と、2位の愛知産業大と勝ち点差1という結果でシーズンを終えました。今年の春はと意気込んだリーグ戦では、II部4位でした。ケガ人が出たりと3月中のオープン戦の結果からは考えられない成績に終わってしまいました。

今年の6月に行われた1・2年だけで試合をする新人戦では、初戦の星城大学戦では12・0で5回コールド負けと自分たちの未熟さを痛感する試合でした。

これらの経験を活かし、今期のリーグ戦では10戦全勝1位通過で入替戦に臨みたいですね。さらに、今年の冬にグラウンドの土の入替え、整備を行っていただけのことなので、部員一同喜びとともに感謝の気持ちを忘れずに練習していきたいと思えます。そして、大学側からの期待に応えられるよう努力し、必ずI部昇格したいと思えます。

名古屋学院大学硬式野球部主将 中田 翔

同窓生の皆様も硬式野球部への応援をよろしく願っています。

名古屋学院大学硬式野球部OB会会長 高木良之



第9回名古屋学院大学ゴルフ部OB親睦会
於 品野台カントリークラブ

O B's NOW

活躍する同窓生

波濤の果てに



Profile

柴田哲治 氏

三菱重工株式会社
名古屋誘導推進システム製作所
顧問

わが名古屋学院は創立120周年を迎え、また、名古屋学院大学は間もなく45周年を迎えようとしています。私が名中に入学したのは昭和37年、創立75周年を迎えた年でした。生まれて初めて入ったチャペルの佇まいや「敬神愛人」という標語に、就学の喜びを感じたときのことを今でも鮮明に覚えています。

私は、その後、名古屋高校を経て、名院大に進みましたが、この間ずっと水泳部に身をおきました。この学校と水泳の二つの選択がその後の私の人生に大きな幸運をもたらしました。

旧海軍に在籍した父の影響もあって、国防の道を志し、大学卒業と同時に海上自衛隊に入隊しました。本学生生としては極めて異例の進路でした。

三十有余年にわたる海上自衛隊人生は文字通り波瀾万丈に富んだものでしたが、学業を通して学んだ「中庸の精神」と水泳で培った「不撓不屈の精神」が文武両道のバックボーンとなり、幾多の難関、試練を乗り越えることができました。また、国防という仕事を通して、広く世界を見聞し、多くの人との出会いや助け合いの中で、「国際人としての嗜み」や、「奉仕(サービス、ボランティア)の精神」についても私なりに理解し、些かでも身についたと確信しています。また、リーダーシップに不可欠の「胆力(たんだり)

く、自分が信じた道を、何事にも動じずやり遂げる実行力」を磨くことができたと思います。

さて、「社会人として本学を巣立つ人々には等しく『個人の実現(確立)』と、『社会(集団)への順応』という、一見して二律背反すると思われるが、非常に大切なことが要求されます。

残念なことに、今の若い人々の中には「個の確立」を「個人の勝手、自由」と解釈する大きな勘違いをしたり、「社会への順応」意識が社会の期待値まで達していないと思われる人が見受けられます。



「社会への順応」意識が社会の期待値まで達していないと思われる人が見受けられます。

私自身は、この二つの大切な要求に対し、「人の話を聞く他人の知的財産、糧の効率的有効利用、自己主張診断の際の評価尺度」ことや、「潔さ(自分の非を認める勇氣)」を自覚することによって「個の確立」を、また、「マナー(相手の立場に立つ、思い遣りの心)に掛ける」、「ルール(秩序、不文律)を守る」ことや「奉仕の精神」を習慣づけることによって「社会への順応」性を高めようと努めてきました。

私が修業した幹部候補生学校(旧海軍兵学校(江田島))に「五省(ごせい)」という伝統的な「自戒の言葉」があります。「五省」の紹介、解説はインターネットに委ねるとしますが、その内容は普遍妥当性を持っており、国、民族、宗教、時代を超えて、人が生きる上で教訓的な意味を持っており、現代人にも通用する立派な反省の言葉だと思えます。終戦により兵学校は閉校され、陸海軍に関するあらゆるものが歴史の表舞台から消されましたが、「五省」に関しては例外で、英訳されて今なおアナポリス米海軍兵学校などで明日の国防を担う若い士官候補生たちに教示されています。

また、海上自衛隊の最高学府、幹部学校(旧海軍大学の教育方針「Academic Freedom」は正に名古屋学院大学の教育方針と相通するものがあります。「教条を廃し、自由に発想し、何ら制約を課すことのない思考を経て、問題解決の方策を導き出す。その過程において原理原則、真理を探究し、もの見方を学び、智慧を蓄積する。」これが「Academic Freedom」の心です。

私の拙い人生経験ですが、現に、また将来、総合教育の場である本学で学び21世紀の中核たる国際人を目指す学生諸君にぜひ伝えて行きたい「こと」です。

ACTIVE MEMBER's NOW

活躍する現役生

大道芸パフォーマンスで魅了



Profile

木下ゆーき さん

大道芸人
(名古屋学院大学外国語学部
国際文化協力学科1年)



僕が大道芸というものに出会ったのは、小学校の頃でした。エンターテイメントが大好きな両親に、大道芸人が集まるお祭りに連れて行ってもらったのがきっかけです。華やかなテクニクと巧みな話術、観客の心をわしづかみにする芸の数々に、いつの間にか引き込まれていきました。そんな「大道芸人」という1枚壁を隔てた向こう側の世界の人に、まさか自分がなってしまうなんて、その頃は思ってもいませんでした。中学校でもバレーボール部に入り、大道芸とは何の縁もないごく普通の中学校生活を送っていました。そんな僕がジャグリングという西洋のお手玉



に出会ったのは中学3年、14歳の時でした。テレビ番組のジャグリング王選手権で優勝した芸人さんが「まずはミカンのお手玉から始めよう」と言ったのです。その二言から、ミカンでジャグリングの練習。投げては落ち、落ちては割れ、割れては食べ、の繰り返しでした。辛抱強く練習していると、投げて時間よりも拾って時間の方が長かったはずが、いつの間にか逆転していました。それから新しい技が出来るようになるのがとても楽しく、毎日練習しました。

初めて人前に立ったのは高校1年の終わり、15歳の時でした。それから人前で演じることの楽しさや厳しさを知り、ますます大道芸の世界に引き込まれていきました。日本各地様々な場所でパフォーマンスさせて頂けるようになった最近では、1枚壁を隔てた向こう側の世界に自分がいるということをとて誇りに思っています。そして、僕とパフォーマンスを見て下さる全てのお客様との間に1枚の壁もない、そこにいる全員が1つになる、そんな素晴らしいパフォーマンスを展開させようという日々努力しております。

大学では国際文化を中心に、異文化問題や異民族問題などを学び、今後の自分の活動に活かしていきたいと思っています。



活躍する同窓生募集!

名古屋学院大学同窓会会報[NGUDO.com]では、各分野でご活躍される一芸に秀でた同窓生の方々の情報を募集しています。お知り合いの同窓生で、「この人は」と思われる方がいらっしゃれば、是非同窓会事務局までご一報ください。電話、FAX、同窓会ホームページへの書き込み、どちらでも大歓迎です。ホームページへの書き込みは、投稿ページをご利用ください。

■名古屋学院大学同窓会事務局
TEL 052-242-6444
FAX 052-242-6455
同窓会ホームページ
<http://ngudo.com>

2007年度名古屋学院大学

インターンシップ受け入れのお願い

学習意欲あふれる後輩の インターンシップ受け入れを！

学生が在学中に企業等において就学体験を行うインターンシップに対する学生及び社会の関心が高まる中、各大学の支援体制や地域の推進活動も充実してきています。また、昨今の経済・社会環境の劇的な変化に伴う変革期に、インターンシップを活用した積極性・創造性豊かな人材が活躍する社会・時代を作り上げるよう、産学官協同の重要性が改めて叫ばれています。

本学でも、インターンシップは学生のキャリア形成において重要な位置を占めており、全学年・全学部・全学部の学生が参加できます。また、学部・学科により単位認定を行っています。学生の関心は年々高まり、2006年度は158名の学生が参加いたしました。

今後とも意欲のある学生がインターンシップに参加していただけるよう、大学としても体制を強化していきたいと考えています。そのためには、今以上に学生を引き受けていただく企業を増やしていく必要があります。同窓生の皆様には是非とも本主旨にご理解をいただきたくお願い申し上げます。

インターンシップとは

学生が企業等において就学体験を行う制度です。産業の活性化とそれに応える教育の改革を視野に入れたインターンシップは、今、産業界および教育現場の熱い注目を集めています。

インターンシップのメリット

企業のPR効果

参加学生による口コミ、キャリアセンターからの学生への宣伝・告知力があります。

優秀な人材の確保

学生の資質や特徴を見極める方法や基準作りの参考になります。

職場の活性化

若手社員の研修としての位置付け、学生による業務改善点の指摘などが見込めます。

大学とのコミュニケーションの構築

大学・学生への企業認知度の向上は、採用活動にも有益となります。



2007年度名古屋学院大学 インターンシップ(春季)概要について

期間

春季/2008年2月上旬～2月中旬

実習

上記期間中の2週間(実動10日間)

待遇

「通勤費」「手当」「食費」について、原則として支給していただくことなく結構です。

保険

インターンシップ実施期間中の事故(通勤および実習中)については、本学で学生教育研究災害傷害保険および学研災付帯賠償責任保険に加入しています。

募集学年・学部

全学年・全学部の学生を対象としています。(春季は1～3年生対象)

募集方法

本学キャリアセンターが、受入企業・団体一覧を学生に開示。参加を希望する学生には、希望の実習先名や参加動機、実習目標、自己PRなどを記入する「インターンシップ参加申込書」(本学所定様式)を提出させます。

学生の選考

本学教員が面談・選考いたします。

誓約書

実習期間に知り得た機密および個人情報の守秘義務を守るため、実習生は誓約書を提出します。

覚書の締結

企業・団体と本学との間で、インターンシップの実施にかかる取り決め事項の確認をいたします。

インターンシップ受け入れの詳細は、名古屋学院大学 キャリアセンターまでお問い合わせください。

名古屋学院大学 キャリアセンター

TEL 052-678-4090 E-mail career@ngu.ac.jp

★参照サイト「インターンシップ推進協議会」

<http://www.internship-ssc.org>

※情報量が多く、実施にあたり大変参考になりますので、是非ご覧ください。



インターンシップ 体験者の声

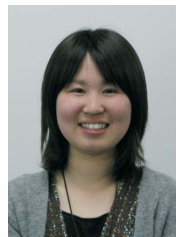
インターンシップを経験し、実社会にふれた学生の体験談と後輩へのメッセージを紹介いたします。

研修先

株式会社ジェイティービー中部 教育旅行名古屋支店

参加学生

吉川美郷さん(外国語学部英米語学科)



吉川美郷さん
(外国語学部英米語学科)

私は将来、国境を越えて様々な人と関わることが出来る仕事につき、人とつながる大切さ、感動を味わえる仕事がしたいと考えています。英語を勉強しているので貧困や自然破壊など世界の情報を耳にする機会が多くなりました。



こと、いつもと見方を変えればいつもは見えないかった物が見える」ということです。私は仕事の内容はかりにとらわれ、大事なことを忘れていました。そのことを実習で気づくことができました。そして、将来自分が本当にやりたいことを見つけることができました。私にとってこれが、インターンシップで一番自信になりました。

た。旅という手段を利用して、何か手助けになる仕事があるのではないだろうかと考え、また旅行業界について情報不足なので、このインターンシップで就職活動に役立てばと考えました。今自分がどこまでできるか、自分の夢に近づく良いきっかけとも思い応募しました。

この2週間は、私にとって収穫の期間でした。仕事だけでなく、仕事をすることで大切なことも学びました。それは「失敗を恐れず挑戦すること、そして物事をいろいろな角度から見

参加に際して、1年生でも早すぎるということはありません。もし、応募しようか迷っている人がいるのならば、思い切って行くべきだと思います。もしかしたら新しい発見もあるかもしれません。また、もう一度将来を考えると、考える良いきっかけになるかもしれません。興味とやる気があるなら応募するべきです。必ず、何か得る物があるはずですよ。



日経BPムック「変革する大学シリーズ」より 名古屋学院大学 2007-2008年版が出版!!

日経BP企画が毎年発行する「変革する大学シリーズ」から、昨年の2006-2007年版に続き、名古屋学院大学2007-2008年版がこの8月に発行されました。名古屋キャンパス開設に関わる各種情報をはじめ、大学のトップインタビュー、先進的教育システムや学部改革の詳細、地域および社会への貢献活動など本学の考え方や特徴、個性などをわかりやすくビジュアル豊富に描き出しています。

名古屋市内の大型書店にてお問い合わせができます。ぜひご購入の上、ご精読ください。



日経BPムック「変革する大学シリーズ」
名古屋学院大学 2007-2008年版
2007年8月23日発行 定価 1,200円

▶主なコンテンツ

- Part1 “21世紀型大学”へと変貌する教育システム
- Part2 加速する学部改革
- Part3 実績ある地域貢献・社会貢献
- Part4 手厚く多彩なキャリア形成支援プログラム

大学院よりお知らせ

外国語学専攻 通信教育課程
英語学専攻が博士後期課程認可申請中

通信教育課程(修士課程)を設置して7年目に入る同専攻では、修了生・現役院生からの強い要望により博士後期課程を設置するべく、課程変更認可申請をしております。認可されますと修士課程と同様に職業を持ちながら、メルル等を利用した課題提出、スクーリングを通じた研究活動ができます。

この設置が許可されますと、全国の研究意欲に燃える社会人への活動場所が提供でき、英語教育学を中心に日本の英語教育レベルのさらなる向上に貢献することができると確信しております。

経済経営研究科 経済学専攻に3コースを開設

同専攻は2007年度より院生の目的に応じた「総合研究」「政策創造」「税法研究」の3コース

より選択し、より高度な経済学の研究を進めることができる体制を整えています。特に実践的な内容の科目を増やし、平日夜間の開講で社会人の方でも無理なく履修することが出来ます。

経済政策専攻に社会人対象の即戦力を養う「ソリューションコース」を開設

開設10年を迎え、これまで454名の修士を輩出する同専攻は国際戦略デザイン研究所調査の「MBAランキング」において全国10位(中部地区1位)にランクされ、高い評価を受けています。2007年度より従来のMBAプログラムを進化させた「ソリューションコース」発足し、企業のソリューションアドバイザーを養成すべく、厳選したプログラムを組んでいます。

■お問合せ
大学院事務室(平日9時~17時)
TEL 052-678-4076
FAX 052-683-0401
URL <http://www.ngu.jp/graduate>
E-mail ngugs@ngu.ac.jp

「特色GPP公開講演会2007」開催の報告

2007年6月20日(水)、本学名古屋キャンパス白鳥学舎において「特色GPP公開講演会2007」が開催されました。当日は学内外より108名(大学関係18名、一般5名、本学教職員80名、学生5名)が参加。講演会の模様は、本学瀬戸キャンパスにもライブ配信されました。

公開講演会の成果

講演会のテーマ「ICT活用による大学教育の質の向上」では、eラーニング、教育の質向上という高等教育をめぐる2つの大きなトピックスを扱っています。参加者の状況は学内外の大学関係者の関心を反映したものと云えます。

国内外の最新の動向を踏まえて、eラーニングと教育の質向上をいかに統合するかという視点を養えたことが大きな成果でした。

今後の事業への反映

当日の講演会に先立ち、学内においてFD研修会・職員研修会として「IT活用講習会」を開催しま



馬術部

全日本大会に出場決定!



本学馬術部の水谷将也さん(商学部商学科2年)、岡村奈緒さん(人間健康学部人間健康学科2年)が以下の通り優秀な成績を修められ、全日本学生馬術競技大会に出場します。岡村さんは全日本学生馬術女子選手権にも出場が決定しました。

- 水谷将也さん (商学部商学科2年)
- 岡村奈緒さん (人間健康学部人間健康学科2年)

- 第42回中部学生自馬競技大会 (6月19日~23日) 中部学生馬術連盟主催
総合馬術競技…2位 水谷将也さん
4位 岡村奈緒さん
- 第43回中部学生馬術女子選手権大会 (6月23日~24日) 中部学生馬術連盟主催
3位 岡村奈緒さん

空手道部

全国大会出場決定!

- 松井正行さん (商学部情報ビジネス(商学部情報)シネス「コミュニケーション」学科3年)
- 全国大会に出場

本学空手道部の松井正行さん(商学部情報ビジネス「コミュニケーション」学科3年)が以下の通り優秀な成績を修められ、全日本学生空手道選手権大会に出場が決定しました。

- 平成19年度東海地区大学空手道選手権大会 (4月29日) 東海学生空手道連盟主催
男子個人組手部門：準優勝 松井正行さん

自己推薦AO入試における 同窓会長推薦区分の 設定について

自己推薦AO入試が9月以降に実施されますが、その中に同窓生子弟を対象とした同窓会長推薦による受験区分を設けています。自己推薦AO入試で受験をお考えの同窓生子弟は、同窓会事務局に推薦書発行についてお問い合わせください。

自己推薦AO入試は、学科試験等は実施せず、その代わり2回の事前面談を通し、学習意欲や目的意識の高い人材を求める入試です。事前面談では、大学入学後の目標確認や基礎学力・コミュニケーション能力・プレゼンテーション能力・自己表現力などを計ります。エントリー方法は、左記期間中にエントリー用紙、調査書(高校卒業・卒業見込者のみ)および同窓会長推薦書を併せてご提出ください。

◆自己推薦AO入試エントリー期間 (期限消印有効)

第1期 9月18日(火)～10月5日(金)

※第1期の申込期限が、本会報発行予定日程と重なっています。既に第1期でエントリーされた同窓生子弟は、至急入学センターにご連絡ください。

第2期 11月19日(月)～12月3日(月)

大学案内・入学願書等の請求、入試要項に関するご質問等ございましたら、入学センター(052-678-4088)までお問い合わせください。

2007年度入試結果と2008年度入試について

本学の2007年度入試結果は別表のとおりとなりました。名古屋キャンパス移転効果による志願者増を期待していましたが、全体では昨年並みの志願者数に留まりました。入試区分別に志願状況を見ると、AO試験の申込(エントリー)者数は581人(前年比141.4%)、推薦試験志願者数は983人(同124.7%)、センター試験利用入試志願者数は660人(同172.8%)と好調だったのに対し、一般入試志願者数は1,942人と前年比約22%減となりました。一般入試で志願者が減少した原因ははっきりとつかめていませんが、大手予備校の志望動向調査の結果から、受験生および高校進路指導部が本学の一般試験は難化すると判断して受験を敬遠し、このため蓋を開けると実質減になったと考えています。

次に入学者状況ですが、今年度は1,416人(男1,046人、女370人)の入学者を迎え入れることが出来ました。この人数は、入学定員1,175人から241人多い数字で、合格者の入学歩留率が想定以上に高かったことによるものです。また、志願者入学者中の女子の比率が高くなったことも特徴として挙げられ、女子入学者は昨年比約50%増と大幅に増えました。入学歩留率が高く女子入学者が多かったことは、名古屋キャンパス移転効果によるものと大きいと考えられますが、瀬戸キャンパスを教育拠点とする人間健康学部も同様に高い入学歩留率であることから、立地要因だけでなく本学の教育内容が十分評価されている結果だと思えます。

2008年度入試は、8月の体験入学AO入試から既にスタートしており、この入試では昨年並みの384名の申し込みがありました。2008年度は18歳人口が前年比6万人減(2007年度・同3万人減)という非常に厳しい入試年度にあたるだけに、良いスタートを切ることができたと思っています。今後別表の日程で推薦入試、一般入試が実施されますが、ご子弟の実力が十分発揮できる入試区分で積極的に受験していただければと思います。

ここ数年続いている好調な入試状況を維持発展させるため、教育内容のさらなる充実や学部学科の再編を検討していくと同時に、入学試験の方法や種類も

時代のニーズに合わせたものを考えていく必要があります。2008年度入試では、さらに幅広い受験層を獲得すべく、そういった変更を大幅に行います。主な変更点は次のとおりです。

- ① 一般入試：全マーク解答方式試験(M方式試験)の導入。
前期：2/3、後期A：2/26、後期B：3/10
- ② 一般入試：大阪試験会場設定(2/1、2/2)
- ③ 一般推薦試験：従来の試験方式「小論文+面接」方式に加え、新たに「基礎学力テスト+面接」方式を導入。
- ④ 一般推薦試験：地方試験会場(金沢・広島)を設定。
(11/10のみ)

本学は、瀬戸キャンパスと名古屋キャンパスの2つのキャンパス体制で新たな歴史を刻み始めました。教育内容においても、キリスト教主義に基づく人間教育や国際交流(留学制度)、情報教育をさらに発展させ他大との差別化を図っています。また資格取得講座やイ

2007年度入試結果(各入試区分を合算した表です) (人)

学部	学科	志願者				合格者				入学者			
		2007		2006		2007		2006		2007		2006	
		全体	女子	全体	女子	全体	女子	全体	女子	全体	女子	全体	女子
経済	経済	1,007	88	928	61	637	66	553	43	357	32	295	22
	政策	326	37	234	22	288	32	211	22	167	14	139	9
商	商	480	106	619	88	340	87	296	52	253	53	188	28
	情報BC	306	70	228	55	206	58	177	46	125	34	121	29
外国語	英米語	568	313	603	296	240	148	226	128	149	96	128	70
	中国コミュ	161	98	97	47	124	69	98	45	68	36	38	17
人間健康	国際文化協力	205	106	136	72	140	75	128	69	78	36	49	22
	人間健康	263	79	262	58	177	53	172	46	134	36	118	27
人間健康	リハビリ	638	172	837	175	146	51	139	42	85	33	86	24
	総計	3,954	1,069	3,944	874	2,298	639	2,000	493	1,416	370	1,162	248

※第2～3志望合格者を合格学科に算入。そのため志願者数より合格者数が多い場合あり。

2008年度入試日程

学部	試験日	試験区分	試験実施学部
学 部	10月13日(土)	体験入学AO本面接試験 特別試験前期(海外帰国生徒・社会人・外国人留学生) 編入学試験前期	全学部
	11月10日(土)	一般推薦試験1日目 スポーツ推薦試験前期	全学部
学 部	11月11日(日)	一般推薦試験2日目 指定校推薦試験 特別指定校推薦試験前期	全学部
	12月1日(土) 1月31日(木)	自己推薦AO本面接試験(1期) スポーツ推薦試験後期 自己推薦AO本面接試験(2期) 特別試験後期(海外帰国生徒・社会人・外国人留学生) 編入学試験後期	全学部
学 部	2月1日(金) 2月2日(土) 2月3日(日)	一般入学試験前期1日目(マーク・記述併用方式) 一般入学試験前期2日目(マーク・記述併用方式) 一般入学試験前期3日目(M方式) 名古屋高校特別試験前期	全学部
	2月26日(火)	一般試験後期A日程(M方式) 特別指定校推薦試験後期A日程 名古屋高校特別試験後期A日程	全学部
大 学 院	3月10日(月)	一般試験後期B日程(M方式) 特別指定校推薦試験後期B日程 名古屋高校特別試験後期B日程	全学部
	2月10日(日) 2月11日(祝)	経営政策専攻(博士前期課程1期) 経済学専攻(修士課程1期) 英語学専攻(修士課程1期) 中国語学専攻(修士課程1期) 経営政策専攻(博士後期課程1期) 全専攻共通 (修士課程3期・博士前期課程3期)	経済経営 経済経営 外国語学 経済経営

(注)通信制の試験については、「書類選考のみ」

オープンキャンパス
実施日 10月20日(土)、12月15日(土)

入学センターでは、広報資料として大学案内や入試要項を用意しています。ご子弟の入試、その他配布資料としてご入用の際は、入学センターにその旨ご連絡ください。よろしくお願いたします。

名古屋キャンパスの設備利用について 施設の開放

名古屋キャンパス白鳥学舎では4月開設以来、施設の利用申込がたえません。大学受験全国統一模試の会場として、社会人向け各種国家試験の受験会場として、また、国際学会、各種学会の全国大会・地方大会の会場等とひっきりなしの状態です。

変わったところでは、高校の補習会場としての施設利用もあるなど、うれしい悲鳴を上げています。地下鉄日比野駅から、徒歩10分程の交通至便で冷暖房完備の新しいキャンパスが人気のゆえんではないでしょうか。白鳥公園に隣接して、緑多い環境も利用者の評判が良いようです。

一方、日比野学舎は、地下鉄日比野駅と直結しており、公開講座等に利用され、市民に人気となっています。

学術情報センター(図書館)の一般開放

9月24日より、白鳥学舎にある学術情報センター(図書館)を学生だけでなく、広く卒業生や一般社会人の方々にもご利用していただけるようになりました。図書館が所蔵する資料を閲覧できる他、貸出も可能です。なお、ご利用には同センターが交付する利用証が必要となります。利用証の交付申請や詳細につきましては、大学のホームページをご参照ください。



文部科学省

「現代的教育ニーズ取組支援プログラム(現代G.P.)」に選定

このほど、文部科学省の「現代的教育ニーズ取組支援プログラム(現代G.P.)」に、「地域創成プログラム」の実践」が選定されました。経済学部の「地域創成プログラム」は、地域社会と協働するよき市民、よきビジネスパーソンの育成のために作られ、すでに愛知県瀬戸市でのまちづくり活動の中で生かされ、多くの実績を積み重ねてきました。今回の取組は、陶磁器の生産地・消費地の関係にある瀬戸市と名古屋市の対象に、「このプログラムを「もの・まちづくり(ものづくり)の蓄積を生かしたまちづくり」というテーマで実践し、地域の再生と交流を実現しようとするものです。

文部科学省「現代G.P.」は、最近拡がりつつある競争的資金のひとつです。各種審議会からの提言などを踏まえ、社会的要請の強い政策課題(地域活性化への貢献、知的財産関連教育など)に関するテーマを設定し、これに対して各大学等が計画している取組の中から、国公私を通じて優れた取組を選び、サポートするものです。

今年度の現代G.P.には、全国の大学等から合計600件の申請があり、選定されたのは119件選定率19.8%でした。この内、本学が申請したテーマ「地域活性化への貢献(広域型)」の申請件数は111件、選定件数は22件(選定率19.8%)となっています。

地域と大学をつなぐ「知」の発信地 「地域連携センター」

本学では、瀬戸キャンパスでの2006年度までの経験・実績を活かし、地域理解、地域共生、地域創造のできる人材の育成を目指し、今年度からは名古屋キャンパスのある名古屋熱田区での地域貢献活動に取り組みようとしています。

昨年度までの市町村と連携した地域貢献としては、まちづくり推進委員会が瀬戸市と連携して取り組んだ瀬戸市の銀座通り商店街の活動があります。また、エクステンションセンターは、シティーカレッジ

などの公開講座を開いて、大学の知的財産を地域社会に提供し、生涯学習に活かす活動を続けてきました。

2007年度からは、これら2つの組織を「地域連携センター」に統一して、各学部から教員2名ずつが参加する形で、大学として統一的な地域貢献活動をしていく体制ができました。

地域貢献の具体的プラン

名古屋市との連携協定では、様々な地域貢献活動の企画や実践が予定されています。地域貢献の具体的プランは主に次の3つとなります。

- ① 熱田商店街の逸品バーチャルモール企画・運営
- ② 熱田観光ルート開発と学生コンシェルジュの育成
- ③ 堀川水上観光ボランティアの育成

①②③については、経済学部の授業の中で取り組み、学生サークルとも連携して、学生が主体的に参加できるような取り組みとして進めていきます。





募金に関する資料の請求や詳しいお問い合わせは事務局の前田(052-721-5271)までお願いします。

名古屋中学校・ 名古屋高等学校が 来年4月から 新校舎建設を予定

名古屋学院大学の母体となった名古屋中学校・名古屋高等学校では今年創立120周年を迎え、記念事業として新校舎を建設する計画です。現在は1号館から4号館まで校舎がありますが、築50年を超える1号館から3号館までを取り壊して4階建ての高層校舎を2棟建設する予定です。名古屋学院大学設立時に大学校舎として建設された4号館および合同教室は現状のまま維持します。

現在名古屋学院では校舎建設のために広く募金呼びかけています。目標は2億円となつていますが、名古屋学院大学の卒業生の方々、特に名古屋高校の卒業生の方にはぜひご協力を頂きますようお願いいたします。

活発に行われている 国際交流活動



名古屋中学校・高等学校は他の私学に比べ、かなり活発に国際交流が行われています。海外交流校として世界的に有名なイートン校(英国)、兄弟校としてメンントン・グラマースクール(オーストラリア)があります。例年夏休みにはそれぞれの学校へ約3週間のショート・ビジットを実施し、英語を学ぶと共に異文化体験をします。イートン校からは毎年ギャップ・イヤー生・イートン校を卒業してオックスフォード大学などに入学する前の1年間を海外での経験やボランティア活動などを体験する制度)が英語授業のアシスタントとして勤務します。メンントン校とは相互に1年間の長期留学生の交換を行っています。これに加えて、夏休みにはアメリカのボストン、英国のバースでそれぞれ特微のあるプログラムを展開し、合計で毎年約60名、80名の生徒が参加します。これらのプログラムをサマー・エクステンションと呼んでいます。



多様性を増す大学進学

名古屋高校は例年国公立大学に120名から150名の合格者を出しています。今年も名古屋大学に16名の合格者を出しました。私立大学への進学は今年度実績で早稲田大学14名、慶応大学7名、南山大学92名など難関15私大に396名の合格者を出しています。



この数年関西地区の難関大学である同志社大学、関西学院大学、立命館大学と特別協定を締結し、3大学合計で65名の進路を確保することとなりました。また全国的にも数多くの大学の指定校となっており、推薦入試による進路の確保が拡大しています。名古屋学院大学への進学者はこの10年ほど減少気味でしたが、大学の人間健康学部の新設、名古屋キャンパスの設置にもなっており今年度は34名の合格者を出すことができました。一方で国公立大学の難関校や、医学部、歯学部志望者も急増し、この分野での合格実績が今後増加していく見通しです。

TOPICS

名古屋学院トピックス

部活動：名古屋中学校・ 高等学校のもう一つの顔

本校は近年では希少価値となった感のある男子校です。男子校のすばらしい一面は運動部にあります。全国大会常連となっている水泳部、陸上部に加えて、テニス部が愛知県では常勝、全国大会でも常に上位を占め、近年で全国制覇3回という実績を上げるまでになっています。2006年度の全国大会出場者数は40名以上で、馬術と陸上(円盤投げ)で全国優勝を成し遂げました。

文化部では brassバンド部、弦楽部、聖歌隊など音楽活動が活発です。brassバンドと弦楽部がジョイントで年一回オーケストラを編成して演奏するまでになりました。今年度はスラブ舞曲を演奏する予定です。また将棋部やJRC(ボランテア活動)なども部員が多く活発に活動しています。



同窓会員のご子弟を ぜひ名古屋中学校・ 高等学校へ

現在次年度入試要項を配布中です。必要の方は事務局(学務課・山名)までご請求ください。名古屋中学校、高等学校への入学相談は水野久教頭または岩城入試広報部長へご連絡ください。(〇五二七二二一五二七)

同窓生のサイバーコミュニティ 同窓会ホームページ 「NGUDO.com」

◎名古屋学院大学同窓会ホームページ <http://ngudo.com/>

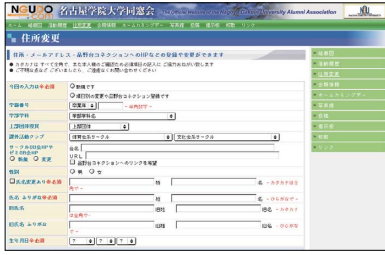
主なコンテンツ CONTENTS



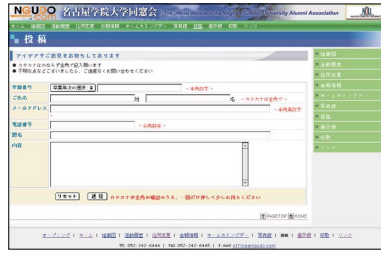
●トップページ



●支部ページ



●住所登録・変更ページ



●投稿ページ

インフォメーション

同窓会事務局では、皆様のご意見・アイデアをハガキ・FAXでもお待ちしております。
「NGUDO.com」同様、お気軽にご投稿ください。

同窓会ホームページ「NGUDO.com」は、開設8年目を迎えます。今や3万人を超える同窓生の皆様に、ホームページを同窓生交流の場として利用していただくため積極的に運営を行っております。本会報をお読みの同窓生の皆様、お気軽に同窓会ホームページにアクセスしていただき、活発な情報交換の場としてご利用ください。よろしくお願いいたします。

今回、新しく支部紹介ページを設けました。支部活動の連絡先として利用ください。また、「NGUDO.com」のイメージソング「I'll be there for you」を作成。ホームページから視聴していただけます。こちらもぜひアクセスし

てください。

同窓生の皆様へ発送した郵便物のうちかなりの数が宛先不明として返送されてまいります。一人でも多くの方々に情報をお伝えするために、お知らせの同窓生の消息をご存知の方は本ホームページにお知らせいただき、住所登録・変更ページに情報の書き込みをご案内していただくと幸いです。

同窓会への要望・質問はもちろん、皆様からいただいた貴重なご意見を今後の同窓会運営に活かしてまいりますので、「NGUDO.com」を是非ご利用ください。

▼同窓会終身会員について

同窓会では、学生、卒業生への援助、また、会報の発行、同窓生の集い「ホームカミングデー」の開催などさまざまな活動を行っておりますが、その会計は、卒業生からの入会金・会費で運営されており、最近では大勢の卒業生の皆様に同窓会運営にご協力いただけるようになり、このつながりを広げて行きたいと考えております。

さて、1996年度より、正会員のうち、年会費5年分(1万円)以上を納入していただいた方及び同年度3月以降卒業の方を終身会員とし、その方には今後年会費の請求をしないこととなっております。なお、1991年3月時点で敬愛同窓会の終身会員であった方は、当大学同窓会の終身会員とみなすことと致しましたので、宜しくお願い致します。

▼年会費のお願い

大学同窓会は、卒業生の皆様の会費で運営されております。今後、大学をもちたて、同窓会ネットワークを充実させるためには、是非しっかりと財源が必要ですので、ご理解の上、ご協力賜りますようお願い申し上げます。会費は、同封の振込用紙をご利用の上、10万以上のお振込をお願い致します。

- 年会費一口 2,000円
- 終身会員費 1万円以上

既に終身会員の方は不要です。

▼支部連絡先

各支部では毎年支部会を開催しています。お問い合わせは左記へお願いします。またホームページ上でも、各支部の連絡事項等をご覧いただけます。

関東支部

榊原金市 (70年卒)
〒125-0035
東京都葛飾区南水元三丁目4-1-1002
TEL 03-3600-5726

関西支部

中川博嗣 (68年卒)
〒544-0025
大阪市生野区生野東1-1-37
中川登記測量事務所 内
TEL 06-712-3574

三重支部

中野隆自 (71年卒)
〒516-0009
三重県伊勢市河崎一丁目14-21
(有)ジャパンネットワークピア 内
TEL 0596-28-8186

中国・四国支部

藤原一致 (71年卒)
〒712-8003
岡山県倉敷市水島鳥神町2-46
(株)アストロ興産 内
TEL 086-444-5252

支部会開催のお知らせ

関東支部 支部総会及び懇親会

日時/平成19年10月27日(土)
12:00~15:00
会場/レストラン「うすげぼー」
(中央区日本橋)

問い合わせ先

関東支部支部長 榊原金市
TEL 03-3600-5726

▼住所変更届けのお願い

同窓会事務局では、同窓会員の皆さんに同窓会会報等の配布物を定期的に送付しておりますが、住所不明による郵便物の返送がかなり発生しております。現住所より転居される場合、同窓会事務局までご連絡いただくか、同窓会ホームページの「住所登録・変更ページ」にて変更していただきますようお願い致します。また、知り合いの同窓生で転居された方を、ご存じの場合も、同様にご連絡いただけますようお願い致します。

連絡先

名古屋学院大学同窓会事務局
〒460-0008
名古屋市中区栄4-1-1
中ビル7階
TEL 052-1242-1644
FAX 052-1242-1644
※同封の住所・勤務先等変更FAX用紙をご利用ください。

同窓会ホームページアドレス
<http://ngudo.com>

同窓会員の皆様 ご注意を

最近、同窓会の名を騙って住所や就職先を電話・FAX、はがき等で尋ねてくる事があるようですが、同窓会では一切そのような事はしておりませんので、ご注意ください。